

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) エフピコアルライト株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒714-0062 岡山県笠岡市茂平2918-46	
本票作成	部署名：支援部マネジメントシステム課				
主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業		
事業の概要	事業内容：フィルム事業・段ボール事業 工場数：3工場（本社工場・ダンボール工場・関東工場） 従業員数：115名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社工場		笠岡市茂平2918-46	
	②	ダンボール工場		笠岡市茂平2918-12	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 9 年度 (4 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 16.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準				○			
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)			目標年度 (令和 9 年度)					
	3,056 t CO ₂			2,561 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 5 年度) の排出量					
	①	本社工場		1,579 t CO ₂					
	②	ダンボール工場		1,477 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 省エネ法に基づく寄与率計算で算出 (①では段ボール製品の生産面積 (万㎡) を、②ではプラスチックフィルムの生産重量 (千t) を原単位とし、その寄与率を計算したもの)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		100.000 t CO ₂ / (%)	84.000 t CO ₂ / (%)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 5 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

省エネ法改正に伴い新基準での目標設定を行った。2023年度に提出した計画書の目標値を継続し、削減率を再計算した。
各種設備の運用方法見直しによる設計余裕の削減や生産効率向上を行い、省エネ法に基づく年1%以上のエネルギー消費原単位の削減を行うことにより、温室効果ガス削減に取り組む。また燃料転換やオンサイトPPAの採用などにより、更なる温室効果ガス削減を進める。

【目標削減率達成のための推進体制】

<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001に基づく推進体制…環境推進委員会（4回/年）、マネジメントレビュー（2回/年） ・省エネ法に基づく推進体制…エネルギー管理委員会（4回/年）
--

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
本社工場	<ul style="list-style-type: none"> ・電気温水器の停止（1台）（CO2削減量：2.8 t/年） ・冷却塔設備制御方式の見直し（CO2削減量：24.1 t/年） ・冷却塔設備1・2次ポンプ電動機の台数制御（CO2削減量：17.7 t/年） ・コンプレッサー室の原料輸送配管の断熱（CO2削減量：1 t/年） ・製膜押出機排気の屋外排出口設置による冷房電力削減（CO2削減量：23t/年） ・電力の低炭素化（電力会社変更）（CO2削減量：約1198 t/年） ・原料輸送制御装置の改修による電力削減（CO2削減量：17.1 t/年） ・エゼクタ用ブロワのインバータ化（CO2削減量：111.6 t/年） ・タスク域とアンビエント域の空調運用の変更（CO2削減量：13.2 t/年）
ダンボール工場	<ul style="list-style-type: none"> ・段ボール製函機カッターフロアのインバータ化（CO2削減量：18 t/年） ・スリスコカッターブロワインバーター設定値見直し（CO2削減量：11.7 t/年） ・コルゲート蒸気供給弁の自動化（CO2削減量：33.4 t/年） ・電力の低炭素化（電力会社変更）（CO2削減量：約360.2 t/年）

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
本社工場	<ul style="list-style-type: none"> ・自家消費型太陽光発電設備の設置（出力：200KW程度） （CO2削減量：122 t/年） ・エリア毎の空調設定の見直し（CO2削減量：1.5 t/年）
ダンボール工場	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラーの燃料転換（A重油→LNG）（CO2削減量：284 t/年） ・高効率変圧器の導入（アモルファス）（CO2削減量：3.4 t/年） ・コルゲート機（ウェット）の更新（CO2削減量：20.44 t/年） ・自家消費型太陽光発電設備の設置（出力：500KW程度） （CO2削減量：220 t/年） ・400V配電への切り替え（CO2削減量：3 t/年） ・変圧器の運転台数の削減（解列）（CO2削減量：1.8 t/年）

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	自家消費型太陽光発電設備の導入 （場所：本社工場屋上 規模：出力200KW程度 設置予定時期：2025年） （場所：ダンボール工場屋上 規模：出力500KW程度 設置予定時期：2025年）
その他	無	

【その他特記事項】

<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の電力量を削減した社員を表彰 ・各種省エネルギーセミナー、カーボンニュートラルセミナーへの参加
